

2023 年度

(2023年4月 ~ 2024年3月)

エコアクション21 環境経営レポート



ラサスティール株式会社

2024年5月24日

目 次

1. 組織の概要	2
2. 認証・登録範囲	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標及び実績	5
6-1. 環境経営計画の実施状況その評価結果及び次年度取り組み内容	6
6-2. 次年度の環境経営計画	7
7. 実施体制	8
8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	9
9. 環境関連法規の遵守状況	10
10. 代表者による評価と見直し・指示	11

【表紙説明】

表紙の写真は親会社であるラサ工業の社名の由来となるラサ島の全景です。

ラサ工業は、沖縄本島の東南約437 k m、北緯24度、東経131度に位置するこの島において、燐鉱石を採取し、過燐酸石灰を製造したことに端を発しております。

1. 組織の概要

1) 名称及び代表者名

名称	ラサティール株式会社
代表者	代表取締役社長 永吉 博之 常務取締役 坂田 博志

2) 所在地

〒833-0003
福岡県筑後市羽犬塚324-1

3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	製造部長 安達 政孝	TEL : 0942-52-7117
担当者	製造部 管理課 古川 陽一郎	FAX : 0942-52-7118

4) 事業内容

普通鋳鋼、特殊鋳鋼及び特殊鋳造製品の製造販売

5) 事業の規模

資本金	50百万円
売上高	1372百万円
従業員数	54名
敷地面積	6900m ²

6) 事業年度

2023年4月 ~ 2024年3月

2. 認証・登録範囲

対象範囲：全組織

事業活動：全活動（普通鋳鋼、特殊鋳鋼及び特殊鋳造製品の製造販売）

3.環境経営方針

<基本理念>

当社は、産業の基盤となる素形材を製造することで社会に貢献するとともに、原材料の節減・再利用により環境負荷を低減させ、地域社会と地球にやさしい環境を目指し、環境経営の継続的改善を実施します。

<行動指針>

- (1) 二酸化炭素排出量削減の為、重点的に省エネルギーに努めます。
- (2) 廃棄物の削減・再利用を推進します。
- (3) 化学物質の使用に際しては、適正な管理を行います。
- (4) 水使用量の節減に取り組めます。
- (5) 不良品の低減に努めます。
- (6) 環境関連法規を遵守し、社会的責任を遂行します。
- (7) この環境方針は、全従業員に周知徹底します。

制定
改訂

2013年12月20日
2020年5月25日
ラサティール株式会社

代表取締役 社長

永吉 博之

常務取締役

坂田 博志

4.環境経営目標

項目	単位	基準年					
		2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
(1) 二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂) /出鋼量 (t)	kg-CO ₂ /t	615	609	606	606	606
電気使用量の削減	電力量 (kWh) /出鋼量 (t)	kWh/t	1,195	1,183	1,177	1,177	1,177
燃料使用量の削減	灯油/出鋼量 (t)	L/t	1.10	1.10	1.00	1.00	1.00
	軽油/出鋼量 (t)	L/t	3.30	1.70	1.70	1.70	1.70
	ガソリン/出鋼量 (t)	L/t	0.63	0.60	0.60	0.60	0.60
	LPG/出鋼量 (t)	kg/t	48.50	48.50	47.50	47.50	47.50
(2) 廃棄物排出量の削減	廃棄物重量 (kg) /出鋼量 (t)	kg/t	688	684	516	344	344
(3) 化学物質使用の適正管理			適正管理	適正管理			
(4) 水使用量の削減	水使用量 (m ³) /出鋼量 (t)	m ³ /t	0.50 (上水のみ)	0.40	0.40	0.40	0.40
(5) 不良品の低減	不良品重量 (t) / 鑄込量 (t)	%	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00

※電気使用量は0.5%の削減を目標とした。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2021年度調整後排出係数 0.382kg-CO₂/kWhを使用しました。

5. 環境経営目標及び実績

本年度中の環境目標実績は、以下の通りである。

項目	単位	基準年	目標値	実績	達成度 (目標値/実績)
		2021年度			
(1) 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂ (総量)	2,124,161	-	2,092,494	-
	kg-CO ₂ /t	615	609	612	99%
【内訳】 電力量	kWh/t	1,195	1,183	1,199	99%
灯油	L/t	1.10	1.10	0.93	118%
軽油	L/t	3.30	1.70	1.31	129%
ガソリン	L/t	0.63	0.60	0.52	115%
L P G	kg/t	48.50	48.50	49.16	99%
(2) 廃棄物排出量の削減	kg/t	688	684	717	95%
(3) 化学物質使用の 適正管理		-	適正管理	適正管理	○
(4) 水使用量の削減	m ³ /t	0.5	0.4	0.42	95.0%
(5) 不良品の低減	%	2.00	2.00	0.68	294%

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2021年度調整後排出係数 0.382kg-CO₂/kWhを使用した。

※ t は出鋼量(トン)を表す。基準年度：3456 t 当該年度：3417 t

6-1.環境経営計画の実施状況その評価結果及び次年度取り組み内容

項目	具体的方法	評価			
		4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月
(1)二酸化炭素排出量の削減（電力量、燃料）					
電気炉	高周波炉の操業具合を考慮し操業する（デマンドを減らす）	○	○	○	○
高周波炉	電気炉の操業具合を考慮し操業する（デマンドを減らす）	○	○	○	○
エアコンプレッサー	定期的なエア漏れのチェックを実施する	○	○	○	○
熱処理炉（10t,3t,3t）	熱効率の良いタイミングで積み込む（炉を冷しすぎない）	○	○	○	○
熱処理炉（15t）	熱効率の良いタイミングで積み込む（炉を冷しすぎない）	○	○	○	○
ガス切断	方案へのフィードバック（不要なアカトリ等、切断箇所を減らしてもらう）	○	○	○	○
(2)廃棄物排出量の削減					
鉋さい（溶解ノロ、ドロス）	分別を行い、リサイクルを推進する	○	○	○	○
廃砂、ショットくず	5Sを行い、こぼれ砂等を減らす	○	○	○	○
がれき、陶器くず	耐火レンガ（ポールカップ等）の複数回使用	○	○	○	○
可燃物（木屑、紙）	資源ごみと可燃物の分別	○	○	○	○
(3)化学物質使用の適正管理					
PRTR制度対象物質	適正管理	○	○	○	○
(4)水使用量の削減					
河川水、上水道	適正管理	○	○	○	○
(5)不良品の低減					
造型班	不良をリストアップし、毎月の品質会議で不具合対策を行う	○	○	○	○
被せ前班	不良をリストアップし、毎月の品質会議で不具合対策を行う	○	○	○	○

・評価

・二酸化炭素の削減について各部署とも活動計画を実施できた。

・廃棄物、化学物質、水、不良品についても計画通り実施できた。

・次年度の取組み内容

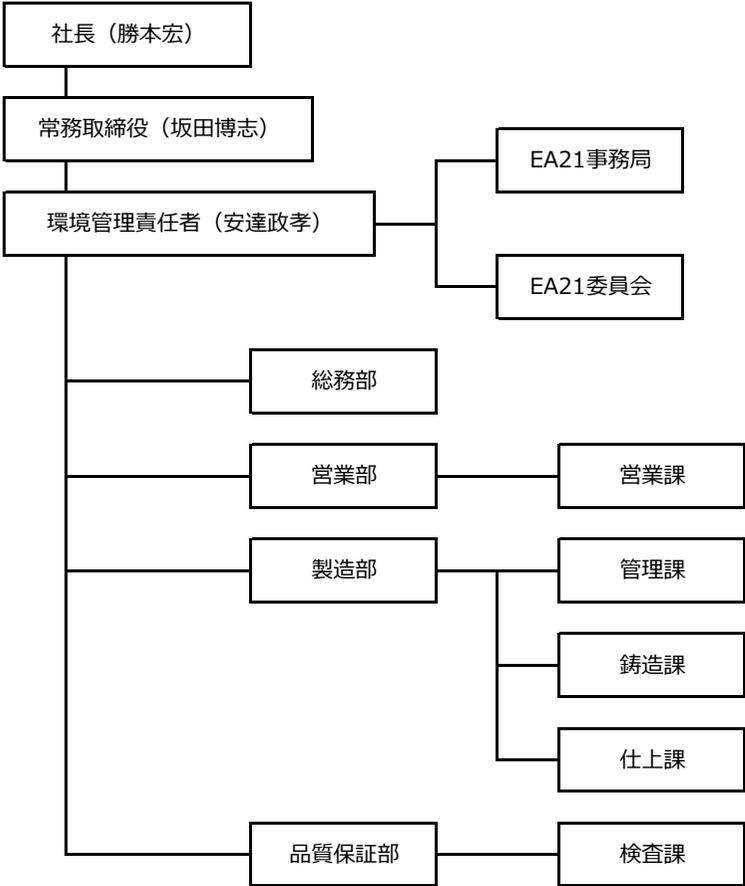
・現在の活動を引き続き実施し環境経営目標が達成できるよう改善活動を継続する。

6-2.次年度の環境経営計画

※次年度の環境経営目標は、環境目標に記載しています。）

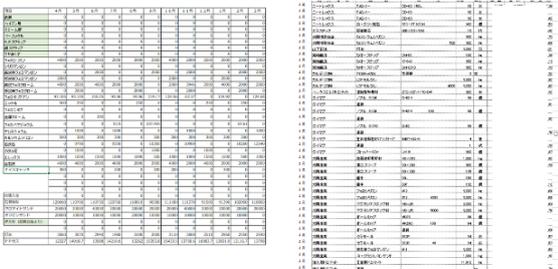
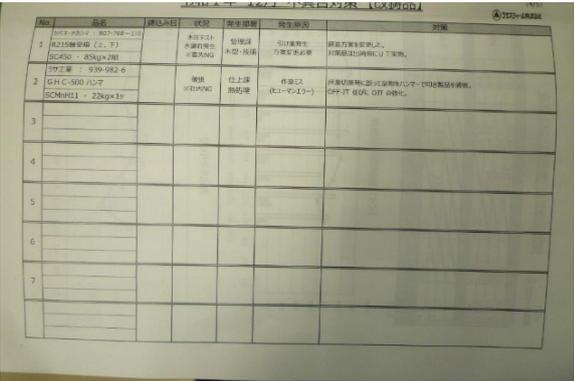
項目	具体的方法	評価			
		4-6 月	7-9 月	10-12 月	1-3 月
(1)二酸化炭素排出量の削減（電力量、燃料）					
電気炉	高周波炉の操業具合を考慮し操業する（デマンドを減らす）				
高周波炉	電気炉の操業具合を考慮し操業する（デマンドを減らす）				
エアークンプレッサー	定期的なエア漏れのチェックを実施する				
熱処理炉（10t,3t,3t）	熱効率の良いタイミングで積み込む（炉を冷しすぎない）				
熱処理炉（15t）	熱効率の良いタイミングで積み込む（炉を冷しすぎない）				
ガス切断	方案へのフィードバック（不要なアカトリ等、切断箇所を減らしてもらう）				
(2)廃棄物排出量の削減					
鉦さい（溶解ノロ、ドロス）	分別を行い、リサイクルを推進する				
廃砂、ショットくず	5Sを行い、こぼれ砂等を減らす				
がれき、陶器くず	耐火レンガ（ポールカップ等）の複数回使用				
可燃物（木屑、紙）	資源ごみと可燃物の分別				
(3)化学物質使用の適正管理					
PRTR制度対象物質	適正管理				
(4)水使用量の削減					
河川水、上水道	適正管理				
(5)不良品の低減					
造型班	不良をリストアップし、毎月の品質会議で不具合対策を行う				
被せ前班	不良をリストアップし、毎月の品質会議で不具合対策を行う				

7.実施体制



社長	<ul style="list-style-type: none"> ・社長として環境経営全般について責任と権限をもつ ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境経営方針の作成、見直しを行う ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・EA21の取組状況を評価し見直しを行う。 ・環境経営方針を全従業員に周知する ・環境への取組を実施する為の資源を準備する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の要求事項を満たす環境システムを構築し、実行する ・環境経営目標及び計画を作成する ・環境経営計画の進行状況を確認する ・環境経営目標及び活動計画の状況、結果を社長に報告する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21を推進し、毎月の管理者会議で実施状況の把握を行う
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の文書を作成し、記録の集計管理を行う
各部課長	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の環境経営目標、活動計画を熟知し実行する ・問題が発生した場合にはEA21委員会に報告し是正、予防処置を行う
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の環境経営目標、活動計画に積極的に参加する ・各部課長の計画に従い環境活動を確実に実施する

8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

<p>1 二酸化炭素排出量の削減</p>	<p>2 廃棄物の削減</p>
<p>デマンドを考慮した操業</p>	<p>分別</p>
	
<p>3 化学物質使用の適正管理</p>	<p>4 水使用量の削減</p>
<p>使用量の把握</p>	<p>節水</p>
	
<p>5 不良品の低減</p>	
<p>品質会議にて不具合対策</p>	
	

9. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規	要求事項	遵守状況
大気汚染防止法	ばい煙濃度の測定及び記録保存	適正
水質汚濁防止法	特定施設の届出	適正
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	公害防止統括者の選任	適正
	公害防止管理者の選任	適正
	公害防止統括者の変更	適正
毒物及び劇物取締法	劇物の適正取り扱いと表示	適正
響灘西部廃棄物処理場に係る産業廃棄物等の埋め立て処分の基準に関する規定	溶出試験結果の提出等	適正
北九州市産業廃棄物の広域移動に伴う処理の適正化に関する要領	北九州市に搬入される当該産業廃棄物についての報告書の届出	適正
特定化学物質の環境への排出量等及び管理改善の促進に関する法律 PRTR法	化学物質管理指針に留意した指定化学物質の製造、使用、取扱いに係る管理	適正
河川法	取水量の報告	適正
消防法	圧縮アセチレンガス等の貯蔵及び取扱いの届出又は廃止の届出	適正
	指定数量未満の危険物の貯蔵及び取扱いの届出又は廃止の届出	適正
	危険物施設の定期点検	適正
高圧ガス保安法	一般高圧ガス第二種製造者の届出	適正
廃棄物処理法	産業廃棄物管理表の管理及び報告書の提出	適正
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	適正

上記の通り、当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

関係機関からの違反の指摘及び訴訟等も、ありませんでした。

現在の取組のままで、今後も遵法性を保つことができます。

代表者による評価と見直し・指示

1) 評価

	項目	結果
1	環境経営システムが有効に機能しているか。	生産体制を見直し（10%減）二酸化炭素排出量も削減を目指したが、目標までの達成はできていない。
2	環境への取り組みは適切に実施されているか。	灯油・軽油・ガソリンなどを極力LPGに切り替えたため、その分削減効果は出たが、逆にLPGは使用量が増え目標は未達となった。

2) 見直し・指示

	項目	結果
1	環境経営方針	現在の環境経営方針を継続する。
2	環境経営目標 環境経営計画	環境経営目標（廃棄物排出量削減）について、今後人口砂導入しリサイクル率を向上させ、廃棄砂の削減を目指す。
3	実施体制	現時点での見直しは必要なし。
4	その他の環境経営システムの要素	現時点での見直しは必要なし。

3) 全体コメント

2023年度では、新型コロナウイルスに伴う行動制限の解除により、経済活動の正常化が進み当社生産も回復傾向で上半期を迎えた、下期に入り一時生産が低下したが第4四半期持ち直し大きく生産を伸ばした。しかし、第三四半期での生産低下の影響が大きく、二酸化炭素排出量原単位が大きく悪化したこと、また2024年度の人口砂導入に伴う砂再生設備更新工事に向け、仕掛量を大幅に増やしたことで廃棄砂量も増加、工事に向けての清掃作業なども増加したこともあり、廃棄物については目標に大きく未達となった。

2024年度は、7月～9月3ヶ月間を更新工事実施するため、溶解鑄込み造型作業がストップする。10月よりは新設備での造型作業がスタートするため、廃棄砂の大幅削減に期待したい。